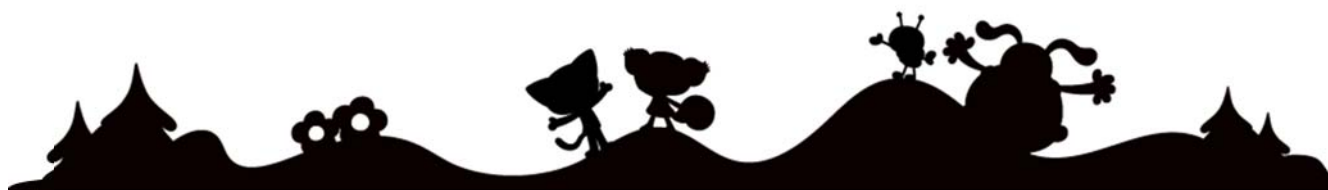


株式会社イオンファンタジー

2019年2月期 第2四半期

決算補足資料



目次

1. 会社概要
2. 2019年2月期第2四半期連結決算概要
3. 2019年2月期第2四半期重点取組み概要
4. 2019年2月期連結業績予想
5. 目指す方向性

【参考資料】

単体資料



会社概要



株式会社イオンファンタジー

2

会社概要

- 1) 商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 17億56百万円
- 5) 株主 イオン株式会社 65.5%、その他 34.5%
- 6) 市場 東京証券取引所 市場第一部
- 7) 事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」
及び「インドアプレイグラウンド」の運営



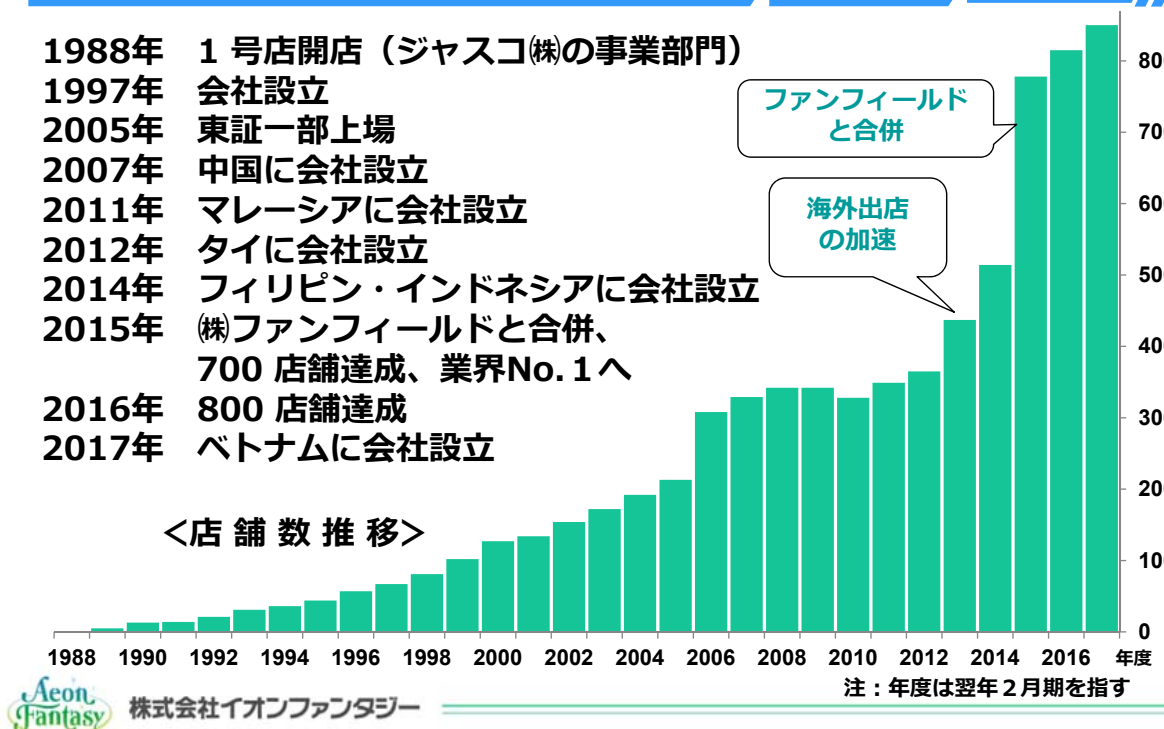
株式会社イオンファンタジー

3

沿革



- 1988年 1号店開店 (ジャスコ(株)の事業部門)
- 1997年 会社設立
- 2005年 東証一部上場
- 2007年 中国に会社設立
- 2011年 マレーシアに会社設立
- 2012年 タイに会社設立
- 2014年 フィリピン・インドネシアに会社設立
- 2015年 (株)ファンフィールドと合併、
700店舗達成、業界No. 1へ
- 2016年 800店舗達成
- 2017年 ベトナムに会社設立



2019年2月期第2四半期

連結決算概要



2019年2月期第2四半期の連結業績

- 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも同期間で**過去最高**。
- 海外は順調に推移。

2019年2月期第2四半期連結累計期間（2018年3月1日～2018年8月31日）（単位：百万円）

	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	35,742	37,763	+5.7%
売上総利益	4,997	5,510	+10.3%
営業利益	2,545	2,851	+12.0%
経常利益	2,301	2,653	+15.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,101	1,360	+23.5%
1株当たり四半期純利益	55.90円	69.02円	13.12円増

セグメント情報

（単位：百万円）

	国内	海外			連結 調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	30,142 (+1.5%)	5,070 (+21.2%)	2,717 (+33.9%)	7,787 (+25.3%)	△166 (-)	37,763 (+5.7%)
営業利益	2,424 (△44)	337 (+208)	91 (+141)	428 (+349)	△2 (+0)	2,851 (+305)

売上高（ ）内は前年同期比増減率
営業利益（ ）内は前年同期増減額

トピックス

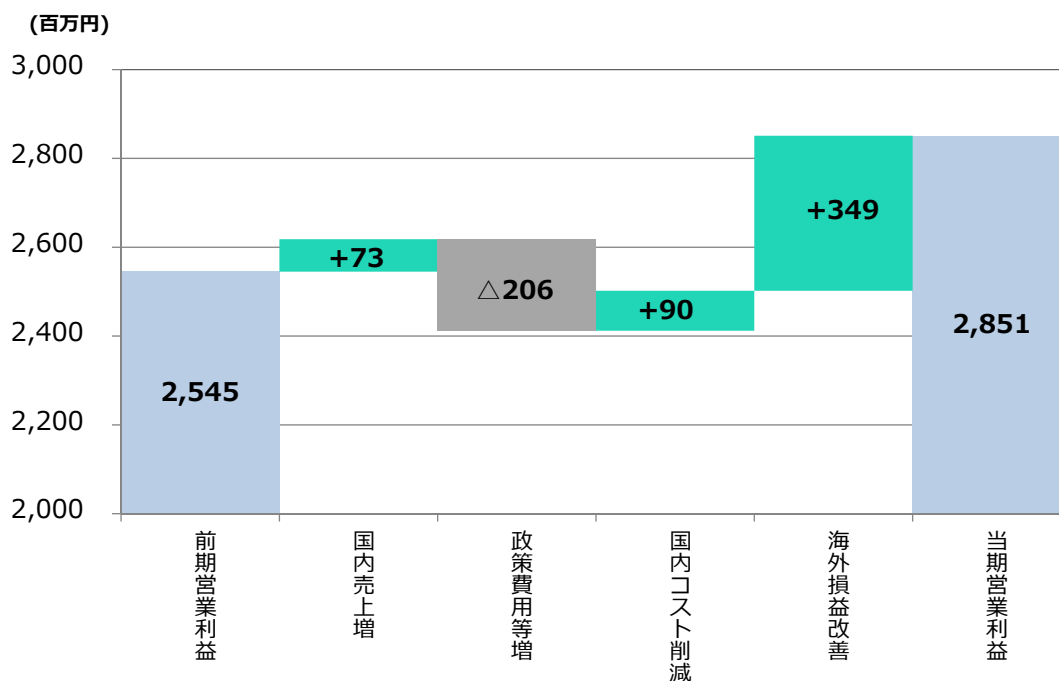
連結業績の増収・増益	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも同期間で過去最高。 ・海外は順調に推移。
国内事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「モーリーオンライン」は順調に会員数が増加、オリジナル景品を中心に人気を博し、売上は計画を大幅に上回る推移。 ・昨年導入し好評を得ている「よくばりパス」を順次追加導入。7月までに全国200店舗体制に。
中国事業	<ul style="list-style-type: none"> ・増収となり、営業利益は大幅増益。 ・15店舗の活性化を実施。売上前年比15.9%増と大きな効果。 ・新たな業態として、サーカスをテーマとしたキッズレストラン「MOLLY WAKA」を杭州と北京に2店舗オープン。
アセアン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン、インドネシア、ベトナムは増益、タイの営業損失は大幅に改善。マレーシアは繁忙期に伝染病の流行により減益となるも、アセアン事業での黒字化を達成。 ・インドネシアでキッズーナの新モデル店舗をオープン。



株式会社イオンファンタジー

8

営業利益 要因別増減分析



株式会社イオンファンタジー

9

連結貸借対照表（2018年8月末日現在）

(単位：百万円)

	2018/2月期末		2018/8月末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,347	22.0%	12,152	24.3%	+1,805
固定資産	36,580	78.0%	37,877	75.7%	+1,296
資産合計	46,928	100.0%	50,030	100.0%	+3,101
流動負債	11,082	23.6%	14,745	29.5%	+3,663
固定負債	7,476	15.9%	6,203	12.4%	△1,272
負債合計	18,559	39.5%	20,949	41.9%	+2,390
純資産合計	28,369	60.5%	29,081	58.1%	+711
負債純資産合計	46,928	100.0%	50,030	100.0%	+3,101

連結キャッシュフロー計算書

2019年2月期第2四半期（2018年3月1日～2018年8月31日）

(単位：百万円)

	2018/2期 第2四半期	2019/2期 第2四半期	前期比増減
営業活動によるキャッシュフロー	3,980	4,086	+105
税金等調整前四半期純利益	2,056	2,236	+179
減価償却費	3,488	4,021	+532
法人税等の支払額	△990	△1,261	△270
投資活動によるキャッシュフロー	△4,645	△5,569	△923
有形固定資産の取得による支出	△4,966	△5,650	△683
財務活動によるキャッシュフロー	△35	1,452	+1,487
借入による純増減額	302	1,761	+1,459
配当金の支払額	△315	△492	△176
現金及び現金同等物の増減額	△730	26	+757
現金及び現金同等物の期首残高	6,442	5,132	△1,309
現金及び現金同等物の期末残高	5,711	5,158	△552

店舗数の状況（2018年8月末日現在）

	Mollyfantasy	kidzooona	その他	計
日本	409	6	43 (2)	458 (2)
中国	139 (3)	48	11	198 (3)
マレーシア	53	26	9	88
タイ	8	16	1	25
フィリピン	0	45	0	45
インドネシア	1	15	1	17
ベトナム	4	5	1	10
カンボジア	1 (1)	2 (2)	0	3 (3)
海外計	206 (4)	157 (2)	23	386 (6)
合計	615 (4)	163 (2)	66 (2)	844 (8)

注：（ ）内数値は内数で、FC等（業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む）の店舗数です。

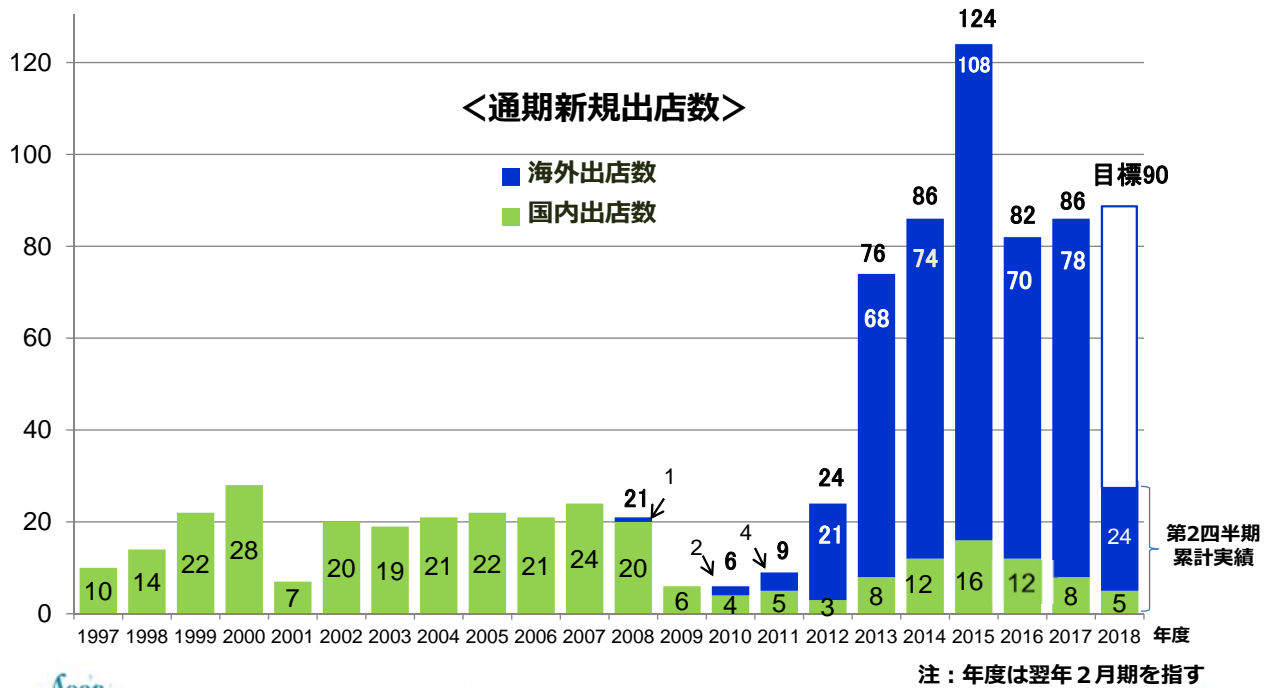
2019年2月期第2四半期

重点取組み概要



新規出店

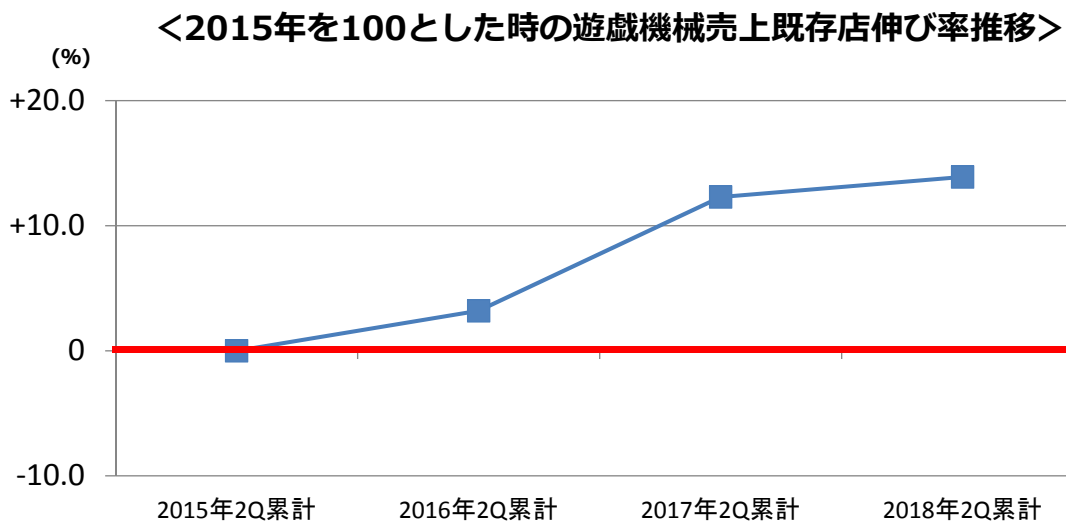
■ 2019年2月期第2四半期の新規出店は29店舗。



株式会社イオンファンタジー

国内 遊戯機械売上の伸長

■ 遊戯機械売上の第2四半期累計の既存店伸び率は+2.7%となった。（2015年比：113.9%）



株式会社イオンファンタジー

当社オリジナル景品の展開強化

■ 人気コンテンツとのコラボによる当社オリジナル景品の展開強化。

人気YouTuber
『東海オンエアぬいぐるみ』



『サーティワンアイスクリーム』
感触系景品



『星のカービッシュュークリームMC』

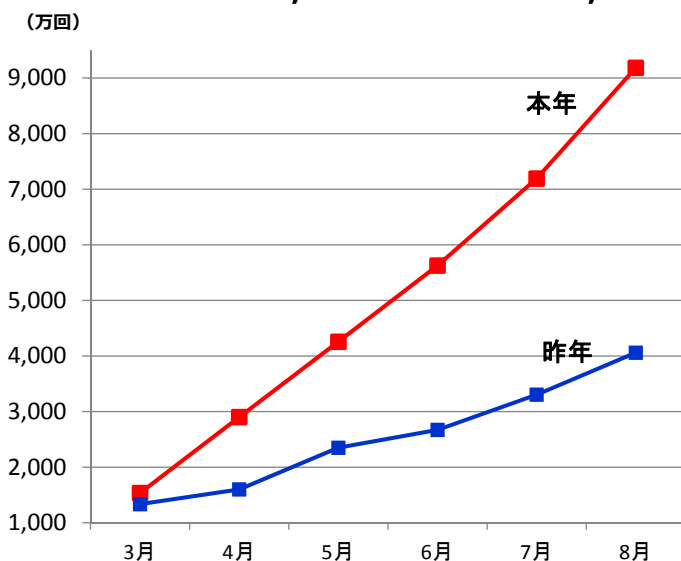


Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

16

YouTube を活用した動画プロモーション

■ 当社オリジナル景品紹介などモーリーファンタジー関連動画の 8月累計再生回数 9,180万回。 (昨年：上期4,060万回、年間9,020万回)



Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

17

『よくばりパス』を追加導入

- 昨年導入し好評を得ている「よくばりパス」(一定時間を定額で遊び放題)を順次追加導入。7月までに全国200店舗体制に。



株式会社イオンファンタジー

18

30店舗の活性化を実施

- 「モーリーファンタジー」の内装と品揃えを一新する大型の活性化を30店舗実施。(前年同期は22店舗実施)



活性化実施店舗の
前年比
108.8%

未実施店舗の
前年比
100.7%

**+8.1ポイントの
効果**



株式会社イオンファンタジー

19

「MOLLY.ONLINE」が好調に推移



- 3月よりサービス開始のオンラインクレーンゲーム。
- 当社オリジナルのYouTuberコラボ景品や感触系景品が大人気、計画を大きく上回る推移。



「パオパオチャンネル」

「PICにゃんBIG」



ユーザー数の推移



海外事業の業績

- 中国は増収となり、営業利益は大幅増益。
- アセアンはフィリピン、インドネシア、ベトナムが営業利益増益、タイの営業損失は前年から大幅に改善、マレーシアは繁忙期に伝染病の流行により減益。

<国別の業績>

(単位：百万円、%)

第2四半期 累計期間実績	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア	
	2018 2月期	2019 2月期	2018 2月期	2019 2月期	2018 2月期	2019 2月期	2018 2月期	2019 2月期	2018 2月期	2019 2月期
既存 伸び率	+10.3	+6.2	+12.8	△0.1	+17.1	+6.3	△1.6	+4.9	△3.0	+2.6
売上高	4,184	5,070	991	1,187	384	372	464	647	188	350
店舗利益	593	879	205	217	△79	△12	63	88	65	125
販管費	464	542	111	141	50	60	67	53	42	66
営業利益	128	337	93	76	△130	△72	△4	34	23	59

中国事業における出店拡大

- 2019年2月期第2四半期累計で10店舗の新規出店。



22

15店舗の活性化を実施

- 「モーリーファンタジー」のプライズ景品コーナーの拡大と品揃えの強化。
- 「キッズーナ」の遊具を刷新。（新遊具への入替え）



活性化実施店舗の
前年比
115.9%

未実施店舗の
前年比
106.2%


**+9.7ポイントの
効果**

エンターテインメントレストラン「MOLLY WAKA」

- 新業態「ワクワク、ドキドキ、美味しい食べ物とサプライズ満載のサーカステーマレストラン」を、杭州、北京に2店舗出店。
- お子さまを飽きさせない仕掛けでくつろぎとサプライズを提供。

MOLLY WAKA  KIDS RESTAURANT

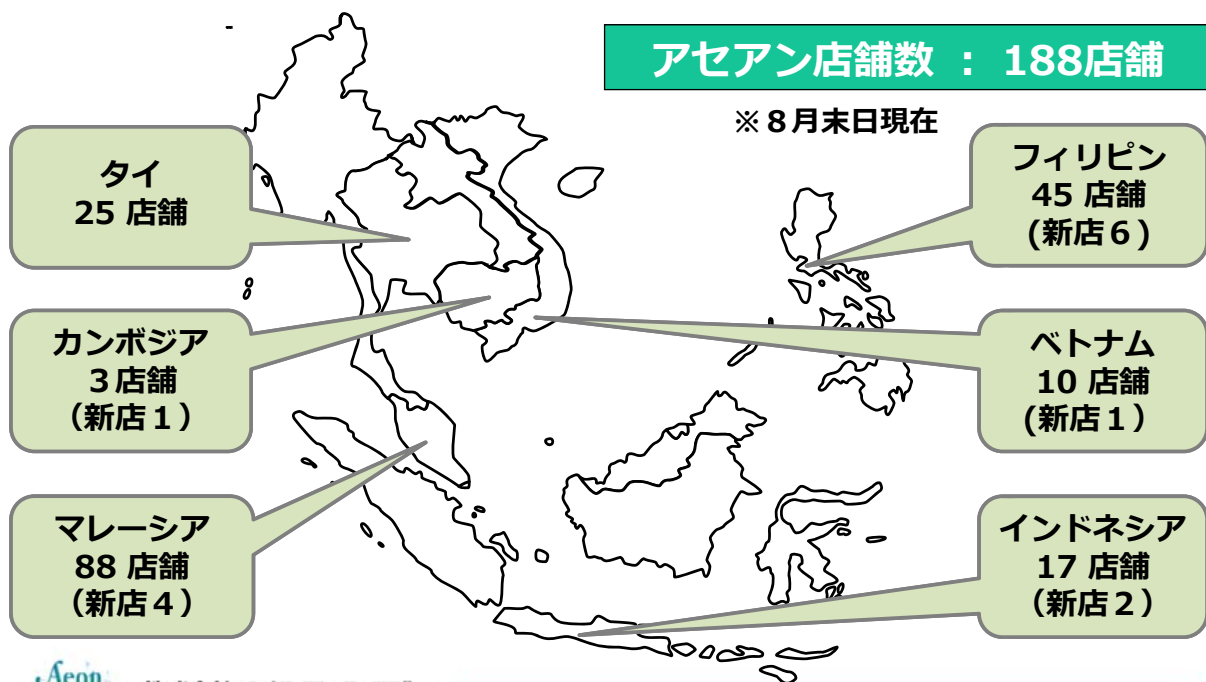



 株式会社イオンファンタジー

24

アセアン事業における出店拡大

- 2019年2月期第2四半期累計で14店舗の新規出店。




 株式会社イオンファンタジー

25

NEW キッズーナをオープン（インドネシア）

- 空間を活かした環境に刷新し遊びの幅を広げた新モデル。
（クライミング、内装のツリー、だんだんヒルズ、なりきりタウンとサーキットの融合等）



 株式会社イオンファンタジー

26

2019年2月期

連結業績予想



 株式会社イオンファンタジー

27

2019年2月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	2018/2月期 実績	2019/2月期 予想	前期比 増減率
売上高	72,174	77,700	+7.7%
営業利益	5,970	6,600	+10.5%
経常利益	5,598	6,000	+7.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,986	3,300	+10.5%
1株当たり当期純利益	151.53円	167.45円	15.92円増
1株当たり配当金	41円	50円	+9円

※前回(2018年4月11日)の決算補足資料から修正はございません。



株式会社イオンファンタジー

28

セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

	国内	海外			連結 調整	連結計
		中国	アセアン	計		
売上高	60,600 (+3.0%)	11,400 (+26.1%)	6,200 (+32.3%)	17,600 (+28.2%)	△500 (-)	77,700 (+7.7%)
営業利益	5,900 (+271)	500 (+195)	200 (+157)	700 (+353)	0 (+4)	6,600 (+629)

前提 ■年間出店数 国内 10店舗 海外 100店舗
 ■既存店売上 国内 103% 海外 105%

※前回(2018年4月11日)の決算補足資料から修正はございません。

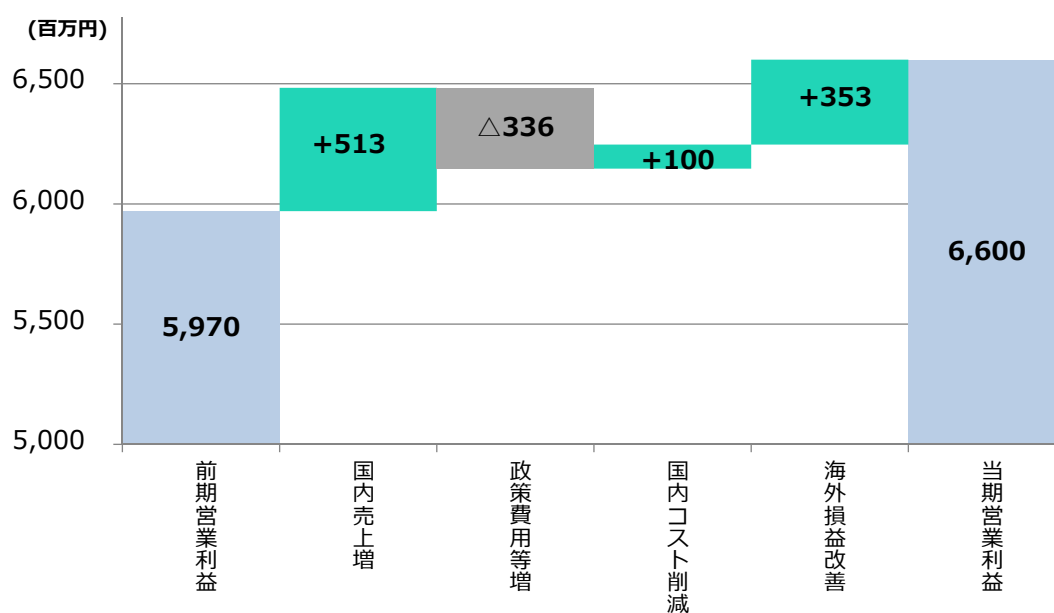
売上高 () 内は前期比増減率
 営業利益 () 内は前年増減額



株式会社イオンファンタジー

29

営業利益増減要因



※前回(2018年4月11日)の決算補足資料から修正はございません。



株式会社イオンファンタジー

30

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。



株式会社イオンファンタジー

31

目指す方向性



目指す方向性

- 子どもとそのファミリーにフォーカスすることで、質的成長と量的拡大を推進。
- 「ゲームの提供者」から「親と子どもが集うエンターテインメント空間」を提供する企業への脱皮。
- 日本での進化、中国の大型インキュベーションをフックにグローバルへと積極拡大。

	現在	中長期
顧客	子どもとそのファミリーなど	子どもとそのファミリーにフォーカス
事業	ゲームの提供者	「親と子どもが集うエンターテインメント空間」の提供者
展開エリア	アジア(19%)	グローバル(50%)

既存事業の進化

- デジタル技術を活用した当社にしかない遊び、商品、内装の導入。
- 圧倒的店舗数のメリットを活かし、他社よりも安価に調達。

世界初 子ども向け
VRゲーム機



デジタル内装、サイネージの導入



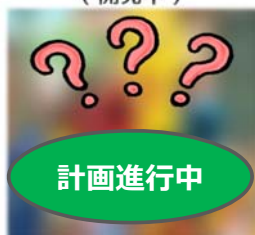
オリジナルゲーム機



機械単価
58%OFF

機械単価 28%OFF

視カトレーニングゲーム
(開発中)



インドアプレイグラウンド
「NEWキッズーナ」

新規事業の創出・拡大

- 「遊び」を軸に親和性の高い分野、成長領域と組み合わせる。
- 当社らしさや当社ならではの提供価値を訴求し、「非日常」「体験」「専門性」を取り入れる。

OYUGIWA



エデュテイメント施設

モーリーオンライン



MOLLY WAKA



有名企業との協業施設



成功した新規事業はグローバルに水平展開する

出店戦略

- 国内・・・未開拓チャネル（百貨店、HC、家電量販店等）への出店。
- 中国・・・創出した新規事業を複合し大型化。
- アセアン・・・インドアプレイグラウンドと多業態との複合出店。

【優良SCへの複合出店】
従来：50 SC=50店
↓
今後：優良 20SC=100店



エデュテイメント施設

Aeon Fantasy 株式会社イオンファンタジー

36

参考資料

単体資料



2019年2月期第2四半期の業績（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2018/2月期 第2四半期	2019/2月期 第2四半期	前年同期比 増減率
売上高	29,708	30,142	+1.5%
売上総利益	4,178	4,198	+0.5%
販管費	1,709	1,774	+3.8%
営業利益	2,468	2,424	△1.8%
営業外損益	△142	△15	—
経常利益	2,326	2,408	+3.5%
税引前当期純利益	2,155	2,329	+8.1%
四半期純利益	1,330	1,483	+11.4%



株式会社イオンファンタジー

2

会計上の売上高詳細（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2019/2月期 第2四半期		前年同期比	既存比
	実績	構成比		
遊戯機械	25,336	84.1%	103.3%	102.7%
商品（物販）	4,388	14.6%	93.5%	94.6%
委託	72	0.2%	97.4%	—
その他	54	0.2%	—	—
遊戯施設関係合計	29,851	99.0%	101.9%	101.4%
その他	291	1.0%	72.5%	—
売上高合計	30,142	100.0%	101.5%	101.4%



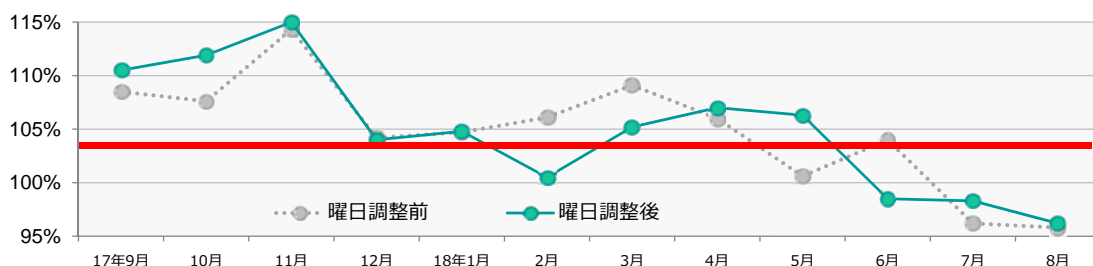
株式会社イオンファンタジー

3

既存店売上高前年比の月次推移（単体）

参考資料

FY2017 3Q~4Q	2017/9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月
曜日調整前	108.5%	107.6%	114.3%	104.2%	104.7%	106.1%
曜日調整後	110.5%	111.9%	115.0%	104.0%	104.8%	100.5%
FY2018 1Q~2Q	3月	4月	5月	6月	7月	8月
曜日調整前	109.1%	106.0%	100.6%	104.0%	96.2%	95.8%
曜日調整後	105.2%	107.0%	106.3%	98.5%	98.3%	96.2%



部門別売上動向（単体）

参考資料

(単位：%)

	2018年2月期 第2四半期		第3四半期		第4四半期		2019年2月期 第1四半期		第2四半期	
	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比	売上高 構成比	既存比
時間制遊具	4.4	98.8	4.3	101.2	4.2	101.0	4.3	105.2	4.5	98.1
体感	7.4	93.6	7.2	92.6	6.8	90.4	7.2	92.5	7.3	99.2
カード	13.5	93.1	15.6	94.5	14.6	93.0	14.5	101.8	11.5	85.5
メダル	25.8	107.5	24.2	109.9	23.6	98.7	22.9	98.8	25.6	99.3
プライズ	45.2	124.7	45.2	124.9	47.4	118.0	45.7	115.3	45.7	100.6
シール	2.5	81.7	2.2	79.5	2.2	83.7	2.8	90.0	2.4	95.2
カプセル玩具	0.9	108.4	0.9	106.6	0.9	92.3	0.9	89.5	0.8	85.9
遊戯施設売上計	100.0	109.6	100.0	110.1	100.0	104.8	100.0	105.5	100.0	97.9

四半期毎の収益の推移（単体）

参考資料

（単位：百万円、％）

	2018年2月期 第3四半期	増減率 (%)	第4四半期	増減率 (%)	2019年2月期 第1四半期	増減率 (%)	第2四半期	増減率 (%)
売上高	13,886	+10.6	15,224	+5.0	14,403	+4.7	15,739	△1.3
売上原価	11,906	+4.4	12,431	+2.2	12,761	+5.1	13,182	△1.6
売上総利益	1,979	+72.0	2,793	+19.6	1,642	+1.2	2,556	△0.5
販管費	811	+11.9	801	△4.3	907	+5.9	867	0.0
営業利益	1,167	+174.6	1,991	+32.9	735	△4.1	1,689	△0.8
営業外損益	7	-	6	-	△14	-	△1	-
経常利益	1,174	+171.5	1,998	+38.9	720	△3.0	1,688	+6.6
特別損益	△490	-	279	-	△282	-	203	-
税引前利益	684	+83.2	2,278	+159.4	437	+25.1	1,891	+4.8
法人税等	402	+101.6	666	+24.3	300	+7.2	546	+0.4
四半期純利益	282	+62.1	1,611	+371.8	137	+96.7	1,345	+6.7



株式会社イオンファンタジー

6

貸借対照表（単体）

参考資料

（単位：百万円）

	2018/2月期末		2019/2期 第2四半期末		期首に 対する 増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	6,910	19.2%	8,805	22.0%	+1,894
固定資産	29,115	80.8%	31,285	78.0%	+2,169
資産合計	36,025	100.0%	40,090	100.0%	+4,064
流動負債	7,202	20.0%	10,254	25.6%	+3,051
固定負債	426	1.2%	426	1.1%	0
負債合計	7,629	21.2%	10,680	26.6%	+3,051
純資産合計	28,396	78.8%	29,409	73.4%	+1,013
負債純資産合計	36,025	100.0%	40,090	100.0%	+4,064



株式会社イオンファンタジー

7